Panasonic®

施工説明書

住宅用照明器具（ひとセンサ付ガレージライト）　施工説明付き

品番 HWC2500KEL

お客様へ　器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。

工事店様へ　施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

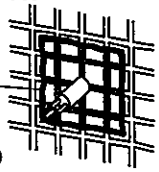
🚫	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗ ⏚	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

必ず守る

■器具の取り付けは施工説明書に従い確実に行う
取り付けに不備があると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります

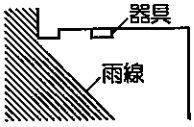
■壁面と本体パッキンのスキマおよびパッキン外周部にシール剤を塗る



本体パッキンと取付面とのすき間を防水シール剤などで埋めてください。
●防水が不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

■雨が直接かからない場所に取付ける
指定外の取付けは火災・感電のおそれがあります。

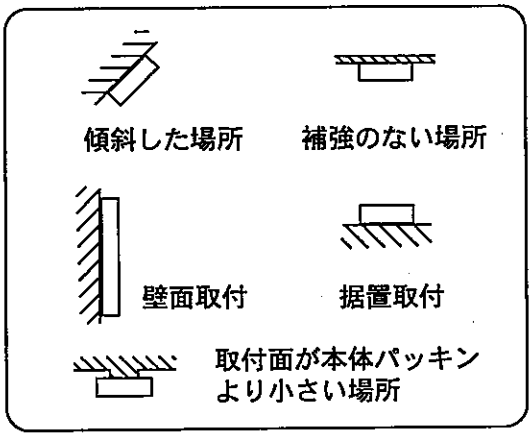
●雨線の内側に取付けてください。



■交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

禁止

■次のような場所に取り付けない
指定場所以外に取り付けると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。



●この器具は非防雨型・天井面取付専用です。

■浴室などの湿気の多い場所では使用しない
火災・感電のおそれがあります。

アース線接続

■接地工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行う
接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

⚠注意

禁止

■温度の高くなるものの上に取り付けない
火災の原因となることがあります。
●ガス機器やその排気筒の上に取り付けないでください。

■調光器と組み合わせて使用しない
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると火災の原因となることがあります。
●調光器の取り外しが必要です。

必ず守る

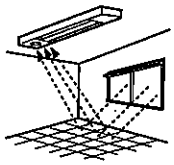
■器具に表示された周波数で使用する
守らないと、火災の原因となることがあります。

施工前にお読みください

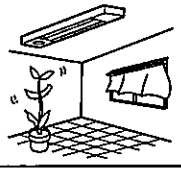
設置場所についてのご注意

●次のような場所には取り付けないでください。
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

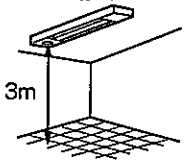
禁止 大理石など反射の強い床面のある場所



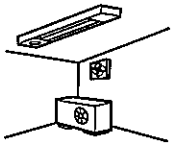
禁止 風などでよくゆれるカーテンや植物の近く



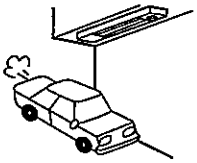
禁止 取付高さが3mを超える場所



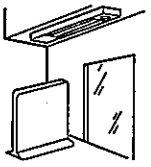
禁止 エアコンの吹き出し口、換気扇の近く



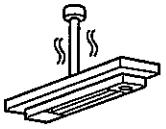
禁止 交通量の多い道路に面した場所



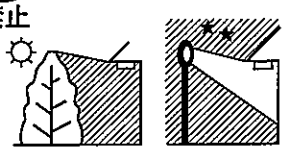
禁止 前面に障害物のある場所（透明なガラスも含む）



禁止 振動の激しいポールなど不安定な場所



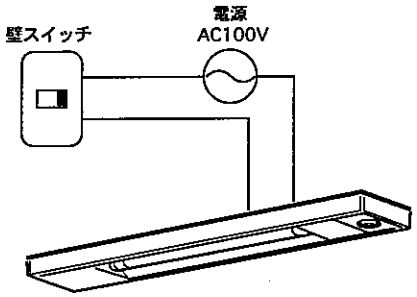
禁止 昼間でも暗い所や夜間でも明るい場所



・一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

配線についてのご注意

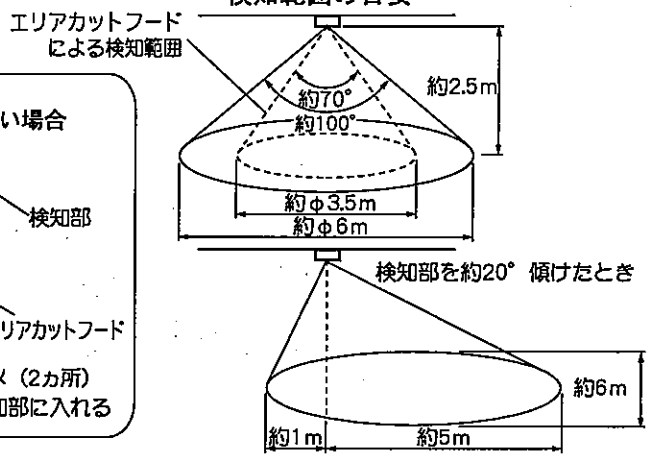
●必ず壁スイッチを設けてご使用ください。（スイッチは別途ご用意ください）
・連続点灯への切り替え操作ができません。
・センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。
●壁スイッチは器具1台につき1個設置してください。複数台を1個のスイッチに配線すると、点灯状態にバラツキが発生するおそれがあります。
●壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）
●通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。



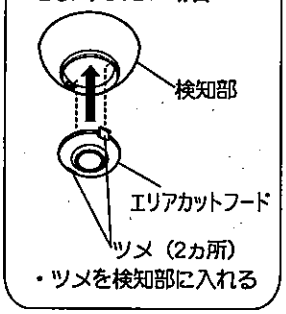
センサの検知範囲

●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。（センサの検知部は全方向に約２０度動きます）
●検知部をせまくしたい場合は、同梱のエリアカットフードを検知部に取り付けてください。
●器具の取り付け高さ1.8m～3mの間では検知範囲は変わりません。

検知範囲の目安



検知範囲を
せまくしたい場合



・ツメを検知部に入れる

ご注意

●この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
●検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
●夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
●センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。

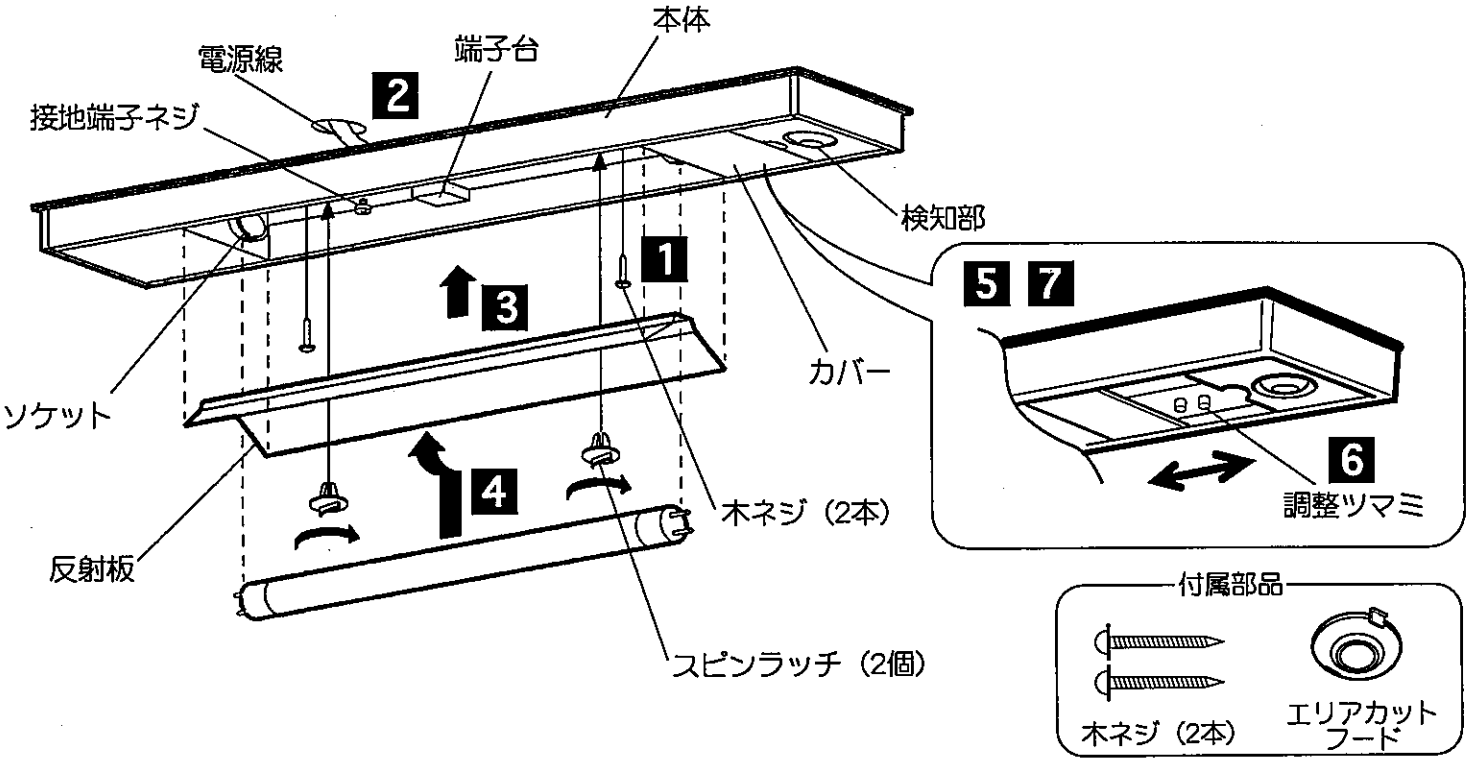
調整ツマミの設定について

この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。
必ず、「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

各部のなまえと取り付けかた

⚠注意 器具取り付けの際は、安全のため電源を切ってください。
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

●器具を下図の状態にしてから施工を行ってください。



照明器具を取り付ける

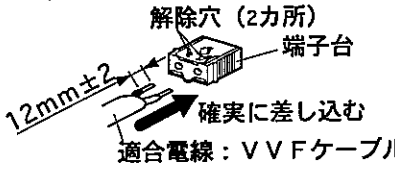
安全のため、電源を切ってから行ってください

1 補強材のある場所に付属の木ネジ（２本）で本体を取り付ける

取付ピッチ　450mm

2 端子台に電源線を接続する

●電源線を端子台に差し込む



適合電線：ＶＶＦケーブルφ1.6，2.0単線

電源線の外しかた
マイナスドライバーなどで解除穴を押しながら電源線を引き抜く

⚠警告 確実に差し込んでください
取付けが不完全な場合、火災・感電の原因となります。

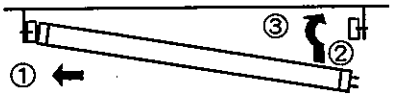
●接地端子ネジからD種（第３種）接地工事を行ってください。

3 付属のスピンラッチ（２個）で反射板を取り付ける

本体の穴に合わせて90度まわす。

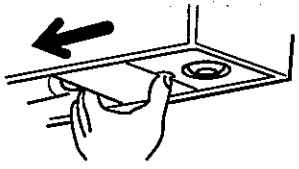
4 ソケットにランプを取り付ける

①ランプをソケットに押しながら
②ソケットに差し込む
③90°回転させる



5 カバーをスライドして開ける

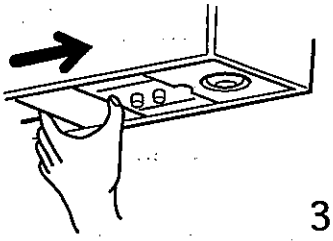
●親指でカバーをスライドさせる。



6 検知範囲と調整ツマミを設定する（次ページ参照）

7 カバーを閉める

●最後までカバーをスライドさせる。



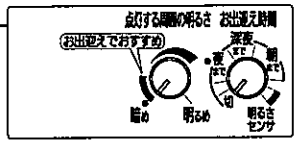
検知範囲と調整ツマミを設定する

昼間でも設定できます。

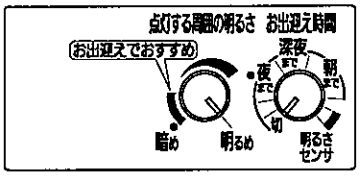
設定の前に
(1)壁スイッチをOFFにする
(2)カバーをスライドして開ける　☞ 3ページ「器具を取り付ける」5を参照

1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

出荷時の設定 ——



[手順]
(1)あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



点灯する周囲の明るさ——「明るめ」（右いっぱいに回す）
お出迎え時間　　——「切」（左いっぱいに回す）

(2)検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する
- ●検知部は、全方向に約２０度動きます。
- ●センサの検知範囲は、☞ 2ページ「センサの検知範囲」を参照ください。

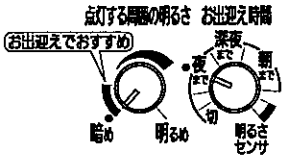
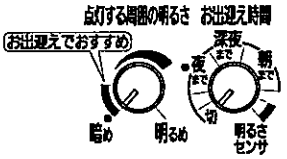
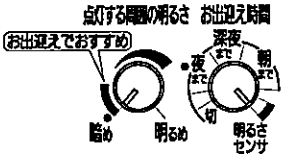
(3)壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る
➡ 約４０秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は、以下の原因が考えられます。
- ●お出迎え時間が「切」になっていない　⇒　お出迎え時間を「切」にする
- ●センサの検知範囲に入っている　⇒　センサの検知範囲から外に出る
- ●連続点灯になっている（検知部が赤く光ったまま）　⇒　壁スイッチを一度OFF にし、5秒以上おいて再び壁スイッチをON にする

(4)消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する
- ●センサの検知範囲の外に出てから約５秒後に消灯します。

2 いったん壁スイッチをOFFにして 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

以下の３種類の使い方ができます。（詳しくは ☞ 取扱説明書３ページ）

使いかた	お出迎えモード	ON/OFFモード	明るさセンサモード
動　作	暗くなったら点灯 設定時刻になると消灯 設定時刻以降は人が近づいたときに点灯	暗くなって、人が近づいたときに点灯	暗くなったら点灯 明るくなったら消灯
おすすめのツマミ設定			
詳しい設定方法	☞取扱説明書４ページ	☞取扱説明書５ページ	☞取扱説明書６ページ

3 カバーを閉める

☞ 3ページ「器具を取り付ける」7を参照

4 壁スイッチをONにする

➡ スイッチＯＮにした直後は周囲の明るさに関係なく、約４０秒間点灯します。

ご注意●お出迎えモードに設定した場合
壁スイッチをＯＮにした初日は、手順２で設定した「お出迎え時間」ツマミの位置に関係なく<u>お出迎え点灯は約４時間</u>で終了します。翌日より設定した時刻通り終了します。

パナソニック電工株式会社　〒571-8686　大阪府門真市門真1048